



**Rotary**

# 茂原中央ロータリークラブ 会報



**イマジン  
ロータリー**




クラブ 創立 1993.1.12  
 例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30  
 例会場 茂原卸団地組合会館  
 事務局 TEL 0475-26-1515  
           FAX 0475-26-1516  
 Email [mobarach.rc@gmail.com](mailto:mobarach.rc@gmail.com)  
<http://mobarachuo-rc.com>





**会長 武田大輔 幹事 飛留間和紀**

★ ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長  
 ★ RID2790 小倉 純夫 ガバナー  
 ★ 第7グループ 平野 一隆 ガバナー補佐



第31巻 通巻第1324号 第7号 例会通回第1329回  
 ★クラブ会報委員長 片岡 太 ★副委員長 横堀 喜一郎

**本日の例会プログラム**  
**令和4年9月20日**  
 (基本的教育と識字率向上月間 /  
 ロータリーの友月間)

点 鐘	ソング	武田 大輔 会長	奉仕の理想
会長挨拶	幹事報告	武田 大輔 会長	飛留間和紀 幹事
委員会報告	ニコニコ		
出席報告	担当委員会		

**9月13日例会**

**9月誕生日祝 ♪おめでとうございます!♪**



★ **神明 重美 会員 (9/14 生)**

皆さん、こんにちは。お誕生日祝いのお花ありがとうございます。9月14日に50歳になります。自分が50歳になるというのは全く想像がつかなかったんですけど、いざ50歳になってみるとあまり変わらない感じです。

素晴らしい人間になれるようにロータリークラブ活動を頑張りますので皆さん今後ともよろしくお願いたします。ありがとうございます。

★ **安藤 裕治 会員 (8/23 生)**

こんにちは。まだ入会したばかりでこのようなことをしていただきましてありがとうございます。また今後ともどうぞよろしくお願いたします。

**会長挨拶 武田 大輔 会長**

皆さんこんにちは。1ヶ月間休会になっていましたので今日は会員の皆様のお顔が見れて凄く嬉しく思っています。先週の火曜日に理事会を開催させていただき、例会の再開については若干感染者が減っている状況ではありますが、まだなかなか油断できないような状況にあるということで各自感染対策をしながら時短で再開しようということになりました。今日は飛留間幹事が息子さんの調子が悪いということで急遽欠席になりましたが、この中にも感染された方もおられ気をつけていてもなかなか難しいという状況ですので、各自体調の変化に敏感になりながら例会に参加していただければと思います。

今月、来月ともロータリーの行事が多く重なっています。来月10月9日に地区大会がありますが、2日後に小倉ガバナーの公式訪問も控えております。会員の皆様もお忙しい中行事が続きますけれどもよろしくお願い致します。先週11日の日曜日は、アメリカの同時多発テロから21年ということで、あの時亡くなられた方も3千人近く出て、テレビで見ても実感がなく映画のような映像だったなというのは覚えています。またロシアのウクライナの軍事侵攻もまだ続いています、こちらもち

なりの死者が出ているそうです。早く戦争やテロがない平和な世の中に戻って欲しいなと思います。

また今月は「基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間」ということです。ロータリーの友を読んでいただくとともに、基本的教育、識字率の向上が図られればと思います。会長挨拶は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

## 幹事報告 居村 龍二郎 副幹事(代行)



### ●地区 (回覧)

- ①国際ロータリー日本事務局/業務推進室・IT室より、
  - ・2022年8月「会員増強・新クラブ結成推進月間」のリソース
  - ・2022年9月「基本的教育と識字率向上月間」のリソース
- ②国際ロータリー日本事務局 | 経理室より、MYROATRY掲載レートの誤りについてご連絡  
7月RIレート1ドル=133円
- ③地区補助金プロジェクト委員会より、「地区補助金承認」のご報告
- ④袖ヶ浦ロータリークラブより、事務局住所変更のお知らせ
- ⑤ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま269号
- ⑥インターアクト委員会より、第55回インターアクト年次大会YouTube配信のご案内
- ⑦ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より、風の便りVol.8 No1 (通刊95号)
- ⑧2022-23年度ロータリー財団統括委員会\_財団資金管理・寄付推進委員会 堀内正人委員長より、MCRレポート7月分
- ⑨コーディネーターニュース2022年9月号
- ⑩ロータリー囲碁同好会より、「第20回記念ロータリー全国囲碁大会」のご案内  
日時：2022年11月5日(土)  
登録開始9時30分 開会式10時  
会場：東京・市ヶ谷の日本棋院本院  
お申込み締め切り10月28日(金)迄
- ⑪小倉ガバナー事務所より、世界ポリオデー啓蒙イベント ご協力をお願い  
日時：10月23日(日)12時30分集合  
セレモニー開会13時30分  
場所：成田国際空港第2ターミナル前中央広場
- ⑫大多喜ロータリークラブより、チャリティゴルフ交流会のご案内  
日時：11月18日(日)9時7分スタート  
場所：東急大多喜城ゴルフクラブ  
お申込み締め切り10月21日(金)迄

- ⑬大網ロータリークラブより、3クラブ親睦ゴルフコンペのご案内  
日時：10月28日(金)集合8時30分  
スタート9時22分  
場所：東千葉カントリークラブ  
お申込み締め切り9月16日(金)迄
- ⑭国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室より、第1回クラブ・地区支援室メッセージ
- ⑮小倉純夫ガバナー事務所より、標準ロータリークラブ定款2022年7月改訂版のお知らせ
- ⑯ロータリーの友事務所より、『ロータリーの友』創刊70周年 俳句コンテスト開催のご案内  
募集期間2022年9月1日(木)～  
2023年2月28日(火)
- ⑰佐藤芳郎RI理事ならびに地域コーディネーターより 世界ポリオデー フォトコンテストのご案内 お申込み締め切り10月31日(月)迄
- ⑱ロータリー文庫運営委員会より、2021-22年度決算報告書及び2022-23年度予算書
- ⑲2750地区富澤為一ガバナーより、世界ポリオデー ポリオ根絶啓蒙動画 素材ご提供のお願い  
お申込み締め切り9月21日(水)迄
- ⑳小倉純夫ガバナー事務所より、青森県大雨災害 クラブ支援のお願い
- ㉑小倉純夫ガバナー事務所より、地区大会表彰のご連絡
- ㉒RLI委員会より、ブラッシュアップ研修会II開催のご案内  
日時：2022年10月1日(土)13時15分  
登録開始 開講13時30分  
場所：千葉市民会館  
お申込み締め切り9月15日(水)迄
- ㉓地区戦略計画委員会より、地区戦略計画草案のご連絡
- ㉔女性交流会より、女性交流会参加登録のご案内
- ㉕奉仕プロジェクト委員会より、千葉県環境生活部からの資料
- ㉖ロータリーの友9月号、ガバナー月信9月号について ※BOXに入れてあります。  
※ガバナー月信9月号訂正箇所について…  
11ページ目、(正)第7グループ出席率平均84.27
- 例会案内 (回覧)  
特になし
- 会報受信 (回覧)  
南佐久RC：会報及び活動計画書  
大原RC：活動計画書  
西那須野RC週報について・・・  
郵送から→ホームページ閲覧へ
- その他 (回覧)
  - ・「ダメ。ゼッタイ」国連支援募金事務局より、普及運動協力お礼状
  - ・米山梅吉記念会館より、賛助会員ご入会のご案内と館報秋号

**理事会報告****議題**

1. 9月・10月例会内容の確認  
9月はお弁当持ち帰り、時短例会とする。  
10月18日は振休とする。
2. 今年度補助金事業について  
(長生町・一宮町・白子町)  
・補助金決定額 210,406円 \$1,582  
・購入品目 発電機インバーター付き  
(参考)京セラ 1台 129,800(税込)
3. 社会奉仕活動事業について  
児童養護施設へクリスマスプレゼントとしてケーキ及びもち米を贈呈
4. 10月11日(火)小倉純夫ガバナー公式訪問について(茂原中央・大網合同訪問)  
会場:茂原卸商業団地会館  
例会点鐘12:40~13:40  
協議会13:50~終了15:10  
※食事時間は例会時間前
5. 2022-23年度茂原中央RC創立30周年記念式典について  
2023年5月20日(土)  
会場:ホテル一宮シーサイドオーツカ  
・記念式典 登録開始15時  
点鐘15時30分  
・記念祝賀会 閉会20時予定  
2023年5月21日(日)  
・ゴルフ 南茂原カントリークラブ  
・観光
6. 第46回RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)実行委員会の推薦について(9月8日迄)  
・第7グループ内から1~2名
7. その他  
・地区大会晩餐会参加者への一部補助について

**ロータリー情報委員会****『ロータリーの友』勉強会****横堀 喜一郎 副委員長**

こんにちは。ロータリーの友勉強会会員の副をやっておりまして、片岡さんから私に担当を振られました。今日は9月号ということですが、9月号に触れる前に、この7月からロータリーR Iの会長にジェニファーE・ジョーンズさんという女性の方が会長になりましたが、その認識も薄いのかなと思いますので、ロータリーインターナショナルで初の女性が会長さんになられたという件にまず触れさせていた

だけだと思います。ジェニファーさんは1997年に入会されたということですが、生年月日や年齢は記載されていませんでした。7月号の記事を読んでみましたら2009年に乳癌が発見されてその時に42歳であったというような一文がありましてので、そうすると生まれが1967年ということになると思います。現在は55歳でR I会長をやっておられるという非常に若くそして切れ者の女性であるということだと思います。日本でR I会長をやるとなると、まずガバナーをやるのでも大体70歳近い人が殆どだと思います。我々のロータリーの意識というのは、やはりその年輩で品格があり知識があり信用がある人がというロータリーのイメージでしたが、50代のやり手の女性が仕切っているというのが現在のロータリーになります。このジェニファーさんの仕事ですが、調べてみましたら、メディアastreetプロダクションズというコマerialの制作会社をしています。この方の国籍はカナダでオンタリオ州のウインザー・ローズランドロータリークラブの所属で、会社が企業のビデオやテレビラジオのコマerial制作をしています。またソーシャルメディアでのキャンペーンということである意味広告業界で働いておられて財を成したという方です。ですので考え方として非常にアグレッシブでありまた変革を好むような方なんでしょうと思います。そう意味でむしろ我々のロータリーというのはのんびりした余り変化についていけない人が多いという日本の現状を鑑みますと、我々も時代の変化に合わせて歳をとっても何とか前向きな気持ちというか新しいものを学んでいこうというこのロータリーで学んでいったらいいのかなというふうにも思っています。多分ロータリー全体にしても日本だけではなくて、他の先進諸国でも先輩のロータリアンが多い中でもっと変わって行こうという方向に舵が切られて行くんだろうというふうに感じています。そんな中で今回ロータリーの9月号を見ますと、ロータリーの70周年を振り返る中で「バックナンバーを探してみましよう」というページがあります。70周年を機にバックナンバーを探してみましようということで紙のロータリーの友だけではなくてオンラインで見られますというのが今回ページで報告されています。インターネットにつないでロータリーの友と入れると、ロータリーの友のページが出ます。そこでIDとパスワードを入れると、過去に出たロータリーの友のバックナンバーを10年ずつの欄で見ることができますので是非それを見てください。というのが今の新しいロータリーの友の見方になります。

そういう意味ではロータリーも変わって行くということの一つとして若い人は当たり前な



んでしょうけれども、ご年配の方々におかれましてもインターネットの時代に慣れていただくことをお願い申し上げます。

続いてロータリーの友9月号についてですが、今回一番メインとしましてはロータリーの友の歴史というのがあります。これができたのが1952年ですから丁度今年で70周年になります。それだけの歴史を数えた本に歴史の中に耐えてきた機関誌ということになります。各年代でそれぞれ話題はあるんでしょうけれども、私としては初刊本にあった編集者の悩みというのが編集手記が載っています。その編集者のプレッシャーとか苦悩というのを見て大変だなというのが感想です。この初回の編集者が岡田さんというある意味プロの編集者に頼んでこのロータリーの雑誌を編集したようですが、ロータリーという社会の中では知性もあり教養もあり経済力もある方々なるほどという思いを思ってもらえるような編集方式をどうするか悩まれたようです。

この岡田さんというのは元々商業雑誌の編集者だったそうです。です。で商業誌であれば世間の流れ、経済動向やその時の流行りの話を集めればそれなりに売れる、興味のある雑

誌はできるけれども、やはりロータリーの目指す品格と皆さんに自分のことだけではなく世界に対して目を向けてもらう。そこに対しての編集方式はどうしたらいいかと大変悩んだというような書き方をしておられました。ありきたりな記事であり興味がそそられないことも多いんですけど、いざ作る側になるとどうやってこのロータリーをある意味高邁な思想、そして世界平和、人類の為に協力いただくというその方向性に皆さんを導いていくか、大変ご苦労されているということを知った次第です。

この記事の裏にはそういう作る人の編集者の苦労があったというのを初刊本の編集後記で知りました。皆さんも多分これを全部毎月隔まで読んでいる人は少ないと思いますが、そういう作る人のご苦労を理解した上で1ページでも多く一つでも多くの記事をこれから読んでいただいてロータリーへの思いと更に自己研鑽、変わって行こう我々も変わらなければいけないという意識を深めていただければいいかなと思います。そんなことを感じて今日はロータリーの友の勉強会の報告にさせていただきます。

どうもご清聴ありがとうございました。



### 創立30周年記念事業について



小沢 恒夫 実行委員長

来年の30周年記念の件で先週実行委員会を開きました。日程の方は皆さんに通知したように5月20日(土)・5月21日(日)となります。



5月20日が式典で21日が記念コンペという形にしていきたいと思っています。

前回の実行委員会の中で決まった事として、記念講演につきましては元中日ドラゴンズの鈴木孝政氏。元プロ野球選手をお呼びして講演をいただくということが決定いたしました。理事会での承認も受けました。これは正林さんの方で縁があって無理にお願いしましてこのようになりましたのでご報告いたします。記念コンペの方も南茂原を取りました。理事会の時には姉妹クラブ友好クラブということで準備委員会を立ち上げようという話がありましたが、西那須野の50周年記念に行った時に西那須野さんの方からお話をいただいて、桃園ロータリークラブの孫クラブを紹介していただくという話がありまして、11月5日、6日に桃園の周年記念があるということだったので、実行委員会のメンバーを含めて皆で訪問して、それで繋げようという話までしていましたが、台湾が今コロナが凄い勢いということで周年記念を中止するということが話の遠のいてしまいました。そういうご縁を少しいただいたので、今というのは無理ですけれども考えていきたいなというふうに思っています。

準備委員会の話がある中で、国内の友好クラブができないかというふうに、友好クラブ締結とか、締結まで5月20日にしようというのではなくて、お互いが行き来できる関係からスタートできるような、そういうクラブとの繋がりを是非持ちたいというふうに考えています。

茂原中央ロータリークラブも若いメンバーが増えてゴルフの好きな人もたくさんいるので、その辺も含めて同じような形式で繋がりを持ってたらなということで模索しているところがございます。

皆さんの中でここはどうかというクラブがあったら是非声を掛けていただいて、そして一回その例会に行ってみるとかをやりたいなというふうに思っています。

今は国内じゃないと動けないような状態なので、まずは来年の5月20日に招待できるようなクラブを探していきたいと今思っています。30周年記念の大きな目玉でもあるかなというふうに考えています。記念事業も林さんを中心にいろいろ検討はしていくんですけど、記念事業、記念講演のほかに友好クラブの実現なればいいかなというふうに考えてますので、皆さんまた協力のほどお願いします。次回の第3回目の実行委員会を開きまして、またいろいろ決まったことを皆さんにご報告したいと思っております。以上でございます。ありがとうございました。

ニコニコ

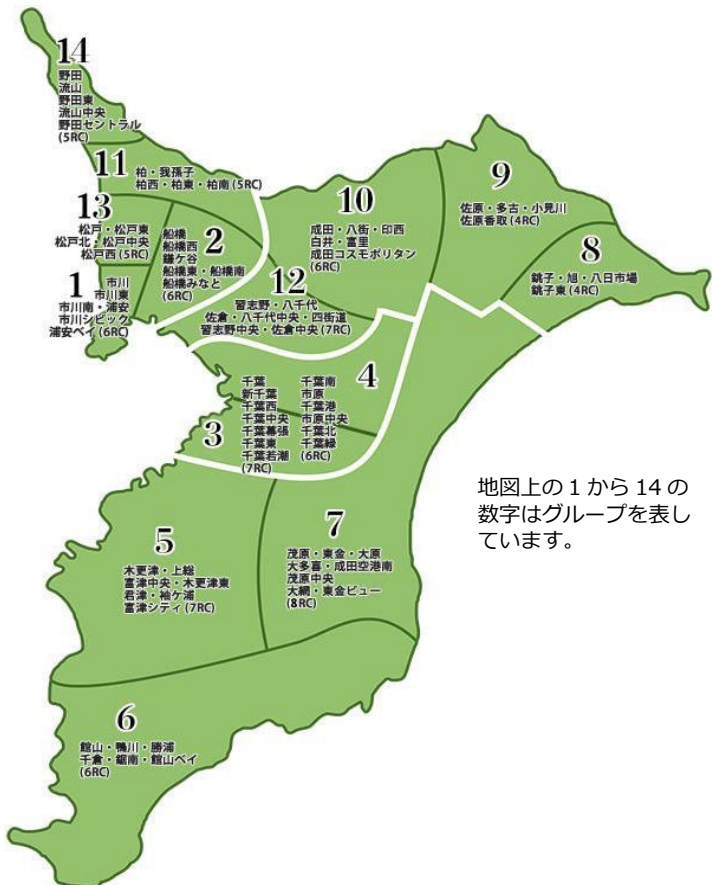
神明 重美 会員・・・誕生日祝いありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

出席報告

例会日	会員	出席	MU	欠席	免除	出席率%
9/13	27	16	4	11	3	76.92
7/26	27	16	2	10	1	69.23

Make-upは習慣にし、ロータリーライフを楽しもう！

9月・10月行事予定	
9/20(火)	通常例会
9/27(火)	通常例会 平野一隆ガバナー補佐 ガバナー公式訪問前クラブ訪問
10/04(火)	理事会11時30分・移動例会「竹りん」 ロータリーの友勉強会
10/11(火)	小倉純夫ガバナー公式訪問 (茂原中央RC・大網RC合同訪問) 会場「茂原卸商業団地協同組合会館」 例会 12:40~13:40 協議会 13:50~ 誕生祝4名 (生松会員・中村会員・飛留間会員・村田会員)
10/18(火)	振休(地区大会)
10/25(火)	夜間移動例会





## — 地区スローガン —

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」

2022 年 9 月

国際ロータリー第 2790 地区

2022-23 年度 ガバナー

小倉 純夫 (松戸 RC)

**ロータリーに研修は必要か？**

1. 今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。識字率向上というと、外国の問題で、日本とは関係ないと思われる人が多いのではないのでしょうか。しかし、日本の 15 歳の若者の「読解力」は世界 15 位に低下し、2012 年からの 3 年ごとの調査では、低下し続けているとのこと。 (OECD の 2018 年調査)。 そうだとすると、日本でも今後若者に正しい日本語を理解させ、表現できるような教育が必要になりそうです。

2. ところで、「基本的教育」というと、ロータリーでも教育（研修）は必要でしょうか。何故、私がこのようなことを書こうと思ったかについて説明します。本年 4 月に行われた地区研修・協議会において、私はクラブにおける研修の充実の必要性を説きました。 そうしたところ、あるクラブの会長エレクトから「ロータリーに研修はそぐわない」との発言がなされました。私の説明に対する意外な反応に驚くとともに、その方に発言の真意を尋ねました。彼は、「ロータリーの例会に出席していれば、改めて研修等せずともロータリーを理解できるはずだ」と答えました。実際に、クラブの例会に出席しているだけで、ロータリーを理解し、ロータリーの新しい情報も得られるのであれば、それにこしたことはないでしょう。しかし、実際には 1 時間弱の例会において、食事を摂り、クラブ会長の挨拶、幹事報告、卓話、その他行事等が行われ、その中でロータリーの何たるかを理解し、その目指すものを理解するのは不可能ではないのでしょうか。平成 17 年に実施された全国のロータリアンに対するアンケートでも「自己研鑽と学習・成長の機会」がロータリーに対する 1 番強い要望でした。我々ロータリアンは、何のために、何を目指してクラブに入会したのかを考えると、それは「自己の成長の機会」ではないのでしょうか。そして、そのためには、例会への出席は勿論、他のあらゆる機会に尊敬できる先輩や友人との交流（親睦）や研修によって、それが可能になるのではないのでしょうか。

3. 私は、ガバナー補佐になるまで、地区委員として地区に参加したこともなく、また、松戸 RC 以外の例会にメイクアップしたこともなかったため、RI の提唱する、中核的価値観、戦略的優先事項、ビジョン声明等についてほとんど知りませんでした。また、この 20 年近くの RI の変化についても、なんとなく以前のロータリーとは変わってきたという実感はありましたが、それが具体的にどのようなものかについての正確な知識はありませんでした。RI の最近の動向について、何も知らなくても職業奉仕の考え方や奉仕の理念が何であるかを理解していれば、ロータリアンとしては充分だと思ってきました。しかし、折角ロータリーという世界的な組織に入ったのですから、それが目指すべき方向やなぜそのような変化が生じているのかを正しく認識することによって、現在のロータリー活動を正しく理解できるのではないのでしょうか。

私はそのためにも、クラブにおいて、会員のロータリーに関する研修は勿論、その充実は是非とも必要であると確信するものです。

(国際ロータリー第 2790 地区 公式ホームページより ガバナーメッセージ)